

景気景況調査報告

(第5回)

平成29年 1～3月期 実績
平成29年 4～6月期 見通し

平成29年5月

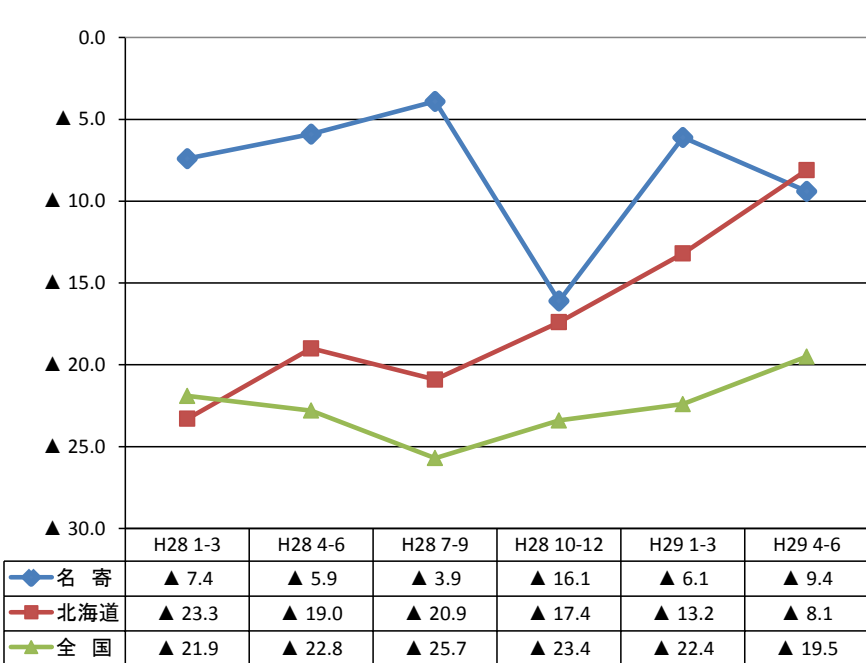
名寄商工会議所

I 調査要領

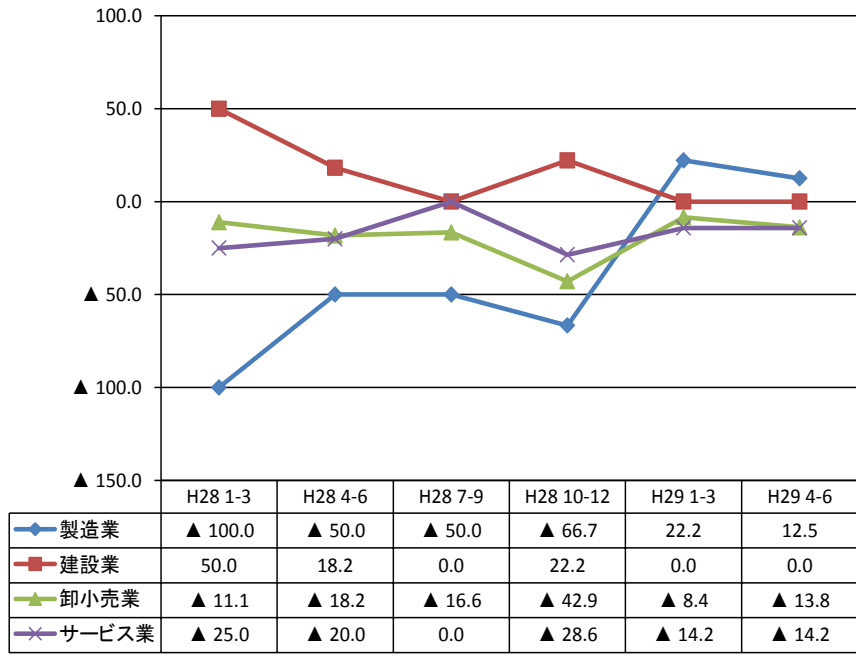
- ①調査対象期間 平成29年1～3月期の実績及び平成29年4～6月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い）99社

II 調査結果

全業種平均業況DI



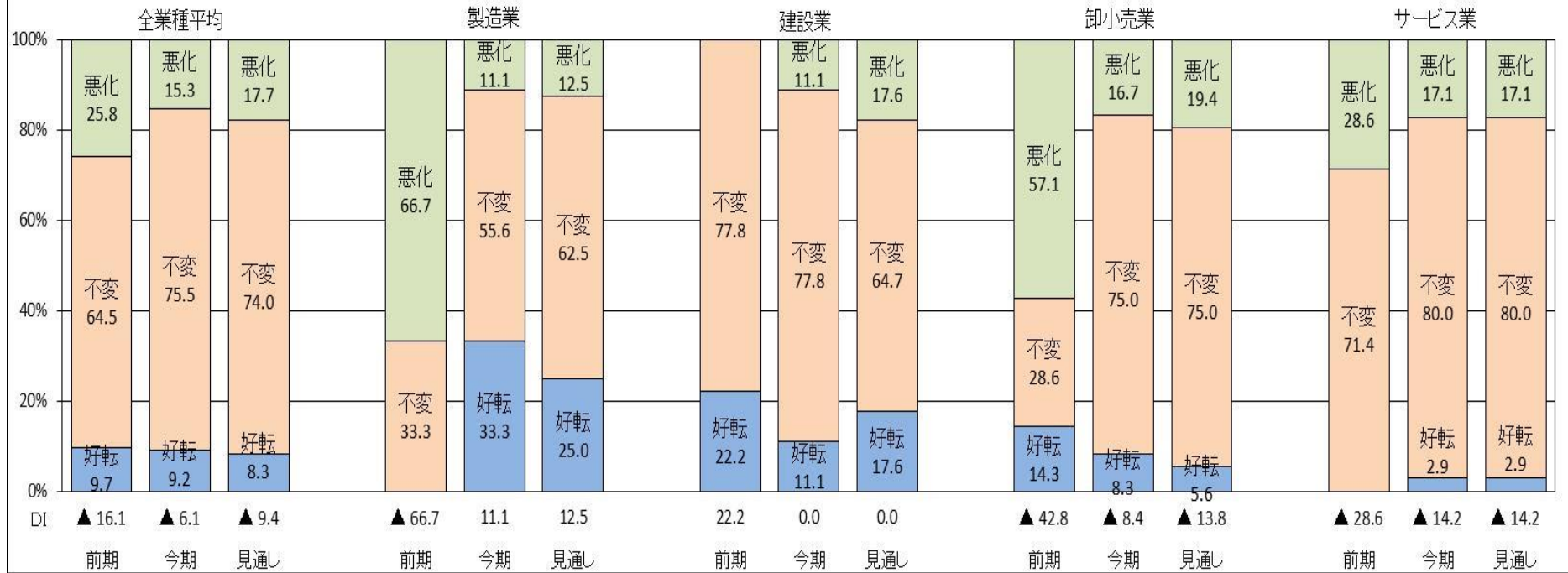
業種別業況DI



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で▲6.1ポイントと前回の調査に比べプラス幅が10ポイント拡大し、回復傾向が見られる。見通しでは▲9.4ポイントとマイナス幅で3.3ポイント拡大となった。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、ほぼ同じ状況となるが、見通しでは8ポイント上回る状況となった。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は7.3ポイント下回るが、見通しでも2.8ポイント上回る状況となった。
- ・ 北海道、全国の見通しでは、横ばいの見通しだが、当地域においては悪化の見通しとなっている。
- ・ 業種別では、建設業以外全ての業種が改善されている。

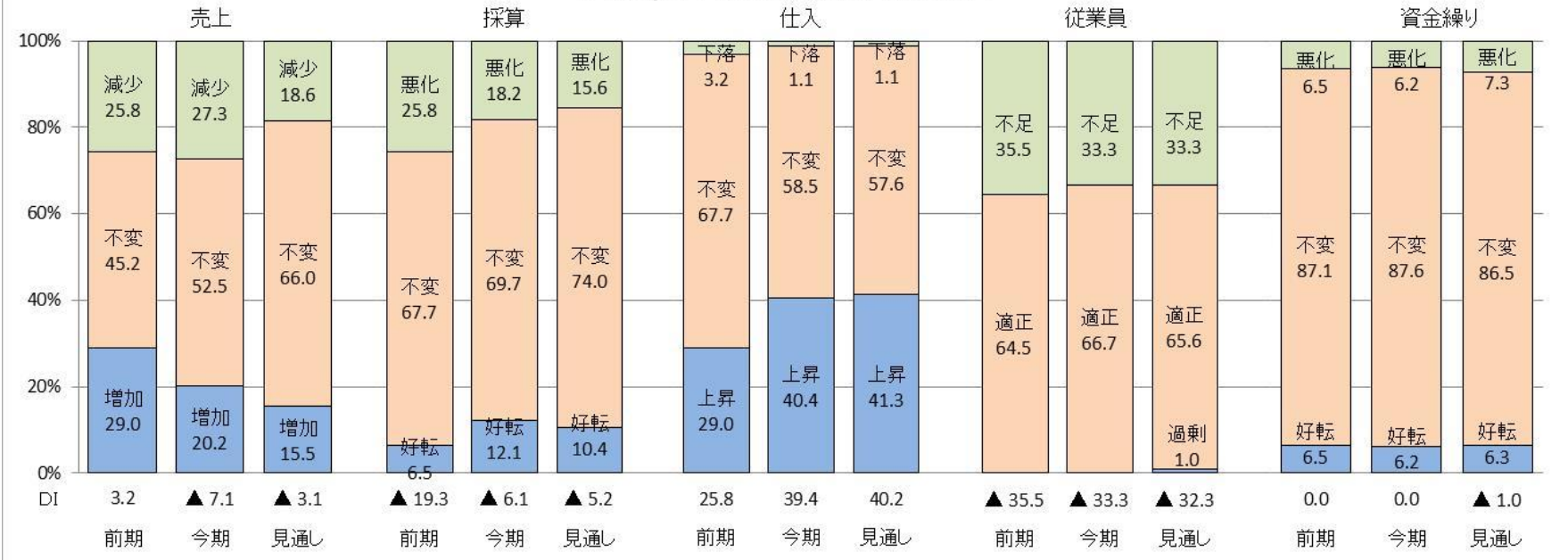
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「悪化」が11.1%と前期より55.6%減少。見通しでも「好転」が25.0%となっている。
稼働率の向上や経費削減により上昇したとの回答。
- ・建設業～今期「悪化」11.1%と前期なしから増加。「悪化」では人手不足により大きな工事が受けられない。「好転」は市のリフォーム補助金制度による受注の増加によるものと回答。DIは0.0となっている
- ・卸小売業～今期「悪化」16.7%と前期より40.4%減少しているものの、「好転」も8.3%と前期より6.0%減少。人口減少や個人消費低迷、企業の廃業、原材料高騰等によるものと回答。
見通しでも「不変」75.0%と景気回復の兆しは不透明である。
- ・サービス業～今期「悪化」17.1%と前期より11.5%減少したものの、見通しでは横ばいとなっている。流動人口の減少が要因と思われる。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

今期▲7.1ポイントと前期よりも10.3ポイント悪化。見込みでは▲3.1ポイントと今期より4.0ポイント改善。

[増加の要因]

- ・受注、売上の増加（製造、建設、卸小売業）
- ・リピーターや宴会増（サービス業）

[減少の要因]

- ・景気低迷、天候不順（建設、卸小売業）
- ・人口減少、高齢化、個人消費低迷（卸小売、サービス業）

採算 DI

今期▲6.1ポイントと前期より13.2ポイント改善。見込みでは▲5.2ポイントと今期より0.9ポイント縮小。

[好転の要因]

- ・売上増加に伴う利益向上、リフォーム補助金（製造、卸小売、建設）
- ・観光客増、新規顧客の確保（サービス業）

[悪化の要因]

- ・仕入単価の高騰（全業種）
- ・时期的（建設業）
- ・景気低迷、人口減少や人手不足（卸小売、サービス業）

仕入 DI

今期39.4ポイントと前期より13.6ポイント拡大。見込みでは40.6ポイントと今期より0.8ポイント拡大。仕入価格の上昇が増加しており、見込みでも横ばいとなっている。

[上昇の要因]

- ・燃料等価格の上昇（建設、卸小売、サービス業）
- ・人件費や流通コスト上昇による値上げ（建設、卸小売業）
- ・円安による影響（建設業）
- ・天候や震災等で原材料の不足による価格上昇（卸小売業）
- ・食材（魚介・肉・野菜）全般の上昇（サービス業）

従業員 DI

今期で▲33.3ポイントと前期よりも2.2ポイントマイナス幅が縮小。見込みでも▲32.3ポイントと1.0ポイント縮小するが、従業員不足の問題は以前として続いており、特に建設業による不足の声が多い。

[不足の要因]

- ・求人過多により来ない（製造、建設業）
- ・技術者不足（建設業）
- ・定年や高齢化による退職者の増加（全業種）
- ・自店希望時間との相違（卸小売業）
- ・主婦や学生アルバイト不足（サービス業）
- ・人口減少、高齢化に伴う労働人数自体の不足（サービス業）

資金繰り DI

今期で0.0ポイントと前期から変動なし。見込みで▲1.0ポイントとなるがほぼ横ばいとなっている。